『重心の諸課題について』

**【主訴】**

|  |
| --- |
| **・重心の方が利用できる事業所がない** |

**【背景】**

|  |  |
| --- | --- |
| ★なぜ利用できる事業所がないのか  ★★メリットがない（リスク＞重心の生活）  ＜財政的補助＝メリット＞  ☆補助金等の裏付け  ☆まずはサンセットでやってみる  ＊財政当局   |  | | --- | | ＜安全性の確保＞  ☆踏み込めない原因…\*調査（事業所、家族） | |

**【現状】**

|  |
| --- |
| ★★社会の中で焦点を当てられてこなかった  ＜守る会など当事者活動が発起＞  ・広報  ・研修  ・行政、学校に対する要望活動など  ※きっかけが大事（阪神淡路大震災など…\*\*青葉園）  ☆虐待防止の観点  ◎アンケート調査 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ★★親亡きあとを考えると入所施設しかない！  ★★親がベッタリ（親が、学校などから要求）  ＜親と離れる場の確保が急務＞  ・学校、放課後支援   |  |  |  | | --- | --- | --- | | ＜日中の場の確保が急務＞  ・デイサービス  ・就労支援…活動  ・当事者活動  ☆社会福祉協議会の協力   |  |  | | --- | --- | | ＜自立心＞  ・本人の意思、人生を生きる…\*検証 | ＜親離れ＞  ・親自身の自立、人生を生きる…\*検証 | | |

|  |
| --- |
| ★★生活の場が少ない  ★★緊急時の受け入れの場が少ない  ★★親元だと支援が繋がっていなければ、虐待につながる場合がある  ＜生活の場の確保が急務＞  ・一人暮らし  ・ショートステイ  ・親元（ホームヘルパーは必須）  ・GH,CH  ◎社会福祉法人、第三セクターの責務？  ☆モデルケース…\*検証（当事者、事業者） |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ★★地域生活体験をする場は皆無  ＜地域生活体験を検討＞  ・（先輩の家で）下宿  ・体験室  ・GHの空き  ※本人用の介助者（親以外）の確保が前提  ☆行政責任；重心の地域生活保障  ☆事例の積み上げが必要   |  |  |  | | --- | --- | --- | | ＜地域生活を検討＞  ☆地域移行推進部会の創設   |  |  | | --- | --- | | ＜自立生活を模索＞  ・第三者後見人  ☆自己決定とは？（考えておく必要性）   |  | | --- | | ＜モデル＞  \*\*青葉園（西宮） | | | |

|  |  |
| --- | --- |
| ★★良い人材がいても続かない  ＜人材の確保＞  ・人材育成  ・質の担保  ☆研修の実施（補助金の活用）  ☆意識として（重心であっても当然）社会の一員であるということ   |  | | --- | | ＜雇用創設＞  ☆数値的裏付け…\*検証（雇用当局） | |

